

目標に向かって・・・

会長 青井 久子

今夏はこのほか暑い日が続きましたが、皆様の体調は如何ですか？
初めに会員と会員の伴侶の旅立ちに心よりの哀悼を申し上げ、ご冥福をお祈りいたします。

5月に田中陽子さん、6月に吉岡繁代さん、7月には竹川美恵子さんの夫。皆さん現役の方ばかりでした。

会員の活動や情報をお伝えする”みちの会だより”も25号を迎えました。

今年は補助金を事業費の1/3（10万）を頂くことになりました。

県民イベントに参加し、その成果が会員のレベルアップにつながると思います。

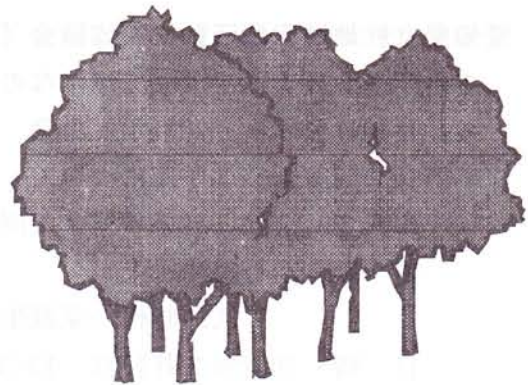
7月23日にディベート研修をいたしました。参加35名、約半分でしたが、日頃行っている討論も、ルールの上でのそれは意義がありました。TVで同じ英語教育のディベートもあり、参考になりました。

1つの目標に向かって互いの違いを認め、合意していく過程はいい勉強でした。

問題への意識や気付かない行動も他への意識を持つことから真の解決が生まれ、方法や方策も編み出されると思います。

行事目白押しの忙しい中、皆さん元気に頑張っています。

男女共同参画社会を目指して、身近なところから始め、より良い社会を築いていきますことを願っています。



H13年4月16日(月) 10時より伏見ライフプラザに於いて総会<出席者 48名>

午後は第1回全体会を行う。今年度役員と新会員の紹介。

	13年度役員	新会員紹介
会 長	青井久子	森田登喜子(名古屋市)
副 会 長	八木登代子	伊藤美智子
書 記	丹羽凱子	長坂典子
会 計	鈴木多恵子	小林治代
幹 事	山本幸子	伊藤節子
	山本さゆり	中川はる
	松本妙子	青木圭子
	浪岡峰子	
会計監査	阪野信子	野田うめ子

本年度事業 報告・予定

- ◆ 昨年の研究発表を基にブロック別で学習する。

ブロック別テーマ

- A. ディベートの基本を学習する。県・市議会ウォッチング
- B. 子供に関わる大人たちのジェンダー教育の意識調査
- C. 私たちの問題意識/社会人として発言すること
- D. ジェンダーフリー/学校における男女混合名簿

- ◆ 1月に見学研修を予定。詳細は追って連絡。

- ◆ 助成金事業に応募

5月25日に申請し、その結果10万円の補助を受けることとなった。

- ◆ 7月23日、伏見ライフプラザにおいてディベート研修を行う。

【次ページ～に報告】

- ◆ 県民イベント(11月17/18日)に参加

ウィルあいちフェスティバル2001に各ブロック別活動を発表

セミナールーム; 11/17(土) 13:30～16:00 参加者100名を予定

会員外へも多くの参加を呼び掛けていく

愛知県女性地域実践活動交流協議会《7団体交流会》

*本年度会長・・・国際交流はなのき会

*5月10日・・・2001年度総会 青井・八木・鈴木(多)出席

*男女共同参画推進事業について

事業名 講演と討議『男女共同参画社会づくり～身近なところで男女共同参画～』

講 師 浅野美和子氏

「江戸時代の家庭生活 —— 桑柏日記よりみる」

日 時 2002年2月16日 13:30～

場 所 豊橋 カリオンビル大会議室

ディベート研修を行いました

講師・・・田口 直人氏 [ディベートインストラクター]

テーマ・・・「小学校に本格的英語教育を導入すべし」

目的・・・ディベート体験とわかりやすい発表の方法及び効果的な質問の仕方



①ディベートのルール

- 1) 時間に制約がある ⇨ 余分なことは言わないで大事なことのみを言う。
- 2) 言葉しか使わない ⇨ 細かい数字は覚えにくいので、聞いている人が分かるようきちっと伝える。
- 3) 人数が決まっている ⇨ 同数で対決。
- 4) ゲームである ⇨ 遊びを通して自分の能力を上げる。
勝ち負けは決まるが人格を傷つけない。
不愉快な思いを持たないようにするゲームである。

大切なことは相手と自分の間で戦略のやり取りをし、話し方を磨く。

②VTRによる解説

- 1つの話題において 賛成 ⇨ 肯定側
反対 ⇨ 否定側

③会員発表

肯定側立論・・・4分 鈴木(多)

立論に対する尋問・・・3分 森田

④第1試合

- 肯定側立論・・・3分・丹羽
否定側反対尋問・・・2分・松本
否定側立論・・・3分・浪岡
肯定側反対尋問・・・2分・青井
否定側反駁・・・1分・三沢
肯定側反駁・・・1分・阪野

⑤第2試合

- 肯定側立論・・・3分・権田
否定側反対尋問・・・2分・山本(幸)
否定側立論・・・3分・長坂
肯定側反対尋問・・・2分・山本(隆)
否定側反駁・・・1分・渡辺
肯定側反駁・・・1分・小林

⑥まとめ 田口講師

- ◎ディベートは万能ではない
- ◎どちらが分かりやすく話しているか
- ◎分かったことが心の中に残り、絵が描けるように理解できたか
- ディベートを通して『人に聞かせる技術』や『人の話を聞く力』を育てること





ディベート研修 アンケート報告

実施日 2001年7月23日

場 所 伏見ライフプラザ 研修室

回収数 35/35人 回収率100%

(アンケート纏め 鈴木 多恵子)

1 ディベートを知っていましたか

A はい	B いいえ	C 言葉として聞いたことがあり知っている
14人	6人	15人
40%	17%	43%

2 ディベートをしたことがありますか

A はい	回数	B いいえ
5人	1回4人 3回1人	30人
14%		86%

3 ディベートのルールについてわかりましたか

A よくわかった	B だいたいわかった	C よくわからなかった
8人	27人	0人
23%	77%	0%

4 ディベートとディスカッションの違いはわかりましたか

A よくわかった	B だいたいわかった	C よくわからなかった
12人	22人	1人
34%	63%	3%

5 尋問と質問の違いはわかりましたか

A わかった	B だいたいわかった	C よくわからなかった
9人	21人	5人
26%	60%	14%

6 今後またディベートをしたいですか

A はい	B いいえ
24人	11人
69%	31%



問 6

Aはいと答えた人 それはどのようなテーマですか

- ☆ 女性問題 ☆ 男女平等参画 ☆ 男女別姓 ☆ 議員定数
- ☆ 子育て ☆ 少子化 ☆ 体罰はしつけか ☆ 少年法 ☆ 介護は家庭か社会か
- ☆ 冠婚葬祭 ☆ 葬送 ☆ 司法 弁護士の数 裁判官の数 ☆ 陪審制
- ☆ 時事問題 ☆ 環境問題と経済 ☆ 趣味について ☆ 友人について

7 ディベート研修の感想など自由にお書きください

- ☆ 今日初めての経験でしたが ディベートは総合的知識を頭につめこまないとなかなか勝つことが出来ないと思いました。観ている側にも刺激的でした。
- ☆ 物事の筋道をたてた考え方をするのに非常に役立つと思った。
- ☆ 言葉をしゃべる、的確にしゃべるということは 物事をよく理解している事 次に論理的に纏める事など 目に見えない学習力が必要なことが解りました。初めての体験でしたが これも訓練ですね。
- ☆ 実際にやってみて その難しさを実感した。論の軸足がブレないように発言することや効果的な切り返しができず かえって墓穴を掘ってしまったりして緊張した。戦略的説得をゲーム感覚で 時間内でおさめるというのを初めて体験した。
- ☆ 参加してみて初めてわかったような気がする。スリルを味わうくらいになってみたい。
- ☆ 新しい言葉「ディベート」を知り 勉強させていただき これから関心をもつことができます。
- ☆ 大変よかったです。相手の話を聞くことの大切さを思いしらされました。
- ☆ 初めての体験で心配していましたが とても楽しい勉強ができました。でも 講師無しではとてもできない研修だと思いました。
- ☆ 内容の濃い研修でした。いろいろ参考になりました。
- ☆ 初めてのディベートでしたが ブロック毎に集まり少しは理解できてたので 今日は楽しめた。
- ☆ 何回も回数をやって 誰もがみんな経験するとよいでしょう。よい学習会でした。
- ☆ 異文化を理解するにも 大切な手段だと思いました。
- ☆ よい勉強をさせてもらいました。
- ☆ 大変楽しかった。
- ☆ 大変学習になりました。
- ☆ ディベートをする機会は少ないが でも勉強になりました。
- ☆ 初めよくわからなかったが とても面白いと思った。
- ☆ インストラクターはテーマに対して中立を必要とすると思う。少し肯定派に偏っていました。
- ☆ 初めてのことで勉強になりましたが なかなか実用化はとても無理なこととおもった。
- ☆ 初めての経験で観客としては楽しませて頂きましたが 不明な点がたくさんあります。勉強が必要でしょうね。
- ☆ 疲れた。相手が夫だと思ったら もっと強くなれたかもしれません。夫とは毎日ディベートしています。明日からは ルールを作ってゲーム感覚でやろうと思います。 以上

ディベート 研修会 感想

青木 圭子

「リベートの勉強会？」「違うわよ、ディベート」「……………」

「ディベートってなぁに」と、その時正直に聞き返すことができなかった。

しばらくして、ディベート研修の日程が決まり参考資料が配布されたが、もう少し知識を得ておこうと図書館から本を借りてきて読んでみた。

「ディベートの目的は、論理的に思考し、論理的に表現する能力の開発と育成。ディベートの実践の目的は意思決定能力の育成」また別の本には「ディベートは、聴く・話す・考える力をつける教育的な手法」と書かれていた。

今回、大変いい勉強をさせてもらった。研修会で感じたこと、思ったことは

①立論などをまとめるのにも話すのにも時間が決められていて、実践された方たちにはいい体験だったことと思う。立論を話す口調から、時間が気になってか最後のほうは急ぎ口調で原稿を読んでしまった部分もあった。

②先生の素早い質問や尋問による指導から「スピード」ということが力をつける大きな要素と感じた。また、鋭い質問や尋問からは激しい論争風景が想像されて、ディベートは雄弁家たちには、さぞ楽しいゲームであろうと、ふと思ったりもした。

③「ノー・イエスで答えてください」という指摘に、自分もあーだ・こーだが先走っていると気づく。せめて「ノー」「イエス」だけでも言えるように心掛けたい。

④若い方たちには是非、ディベート体験をしてもらいたい、と願う。

河津 百合

アメリカ大統領がTVにおいてディベート論争を行うなどでディベートが知られるようになりました。

日本でも各党首によるディベートがTVで放送されましたが、まだまだ一般にはなじみのうすい言葉です。

今般、みちの会において論題『小学校に本格的英語教育を導入すべし』により、ディベートが行われました。

3人対3人の応酬はなかなかのもので、聞きごたえのあるものでした。

ディベートインストラクター田口直人氏のきめ細かな指導も分かりやすく、面白くうかがうことができました。

論理的に相手を説得することに弱い私たちには効果的な教育であり、相手の反対意見にもじっくり聴くことの大切さを知りました。

男女共同参画、少子化、夫婦別姓、高齢化問題などからも多くの論題が見つかりそうです。

あとがき …… 非道なテロ事件に対して、向かう手立ては反撃だけでしょうか。私たちは、少しでも犠牲が少ないことを願うことしかできないのでしょうか。肌の色も宗教も言葉の違いも男女の別も、互いを理解し、認めあうことから始まるのでは・・・ **M・I**